

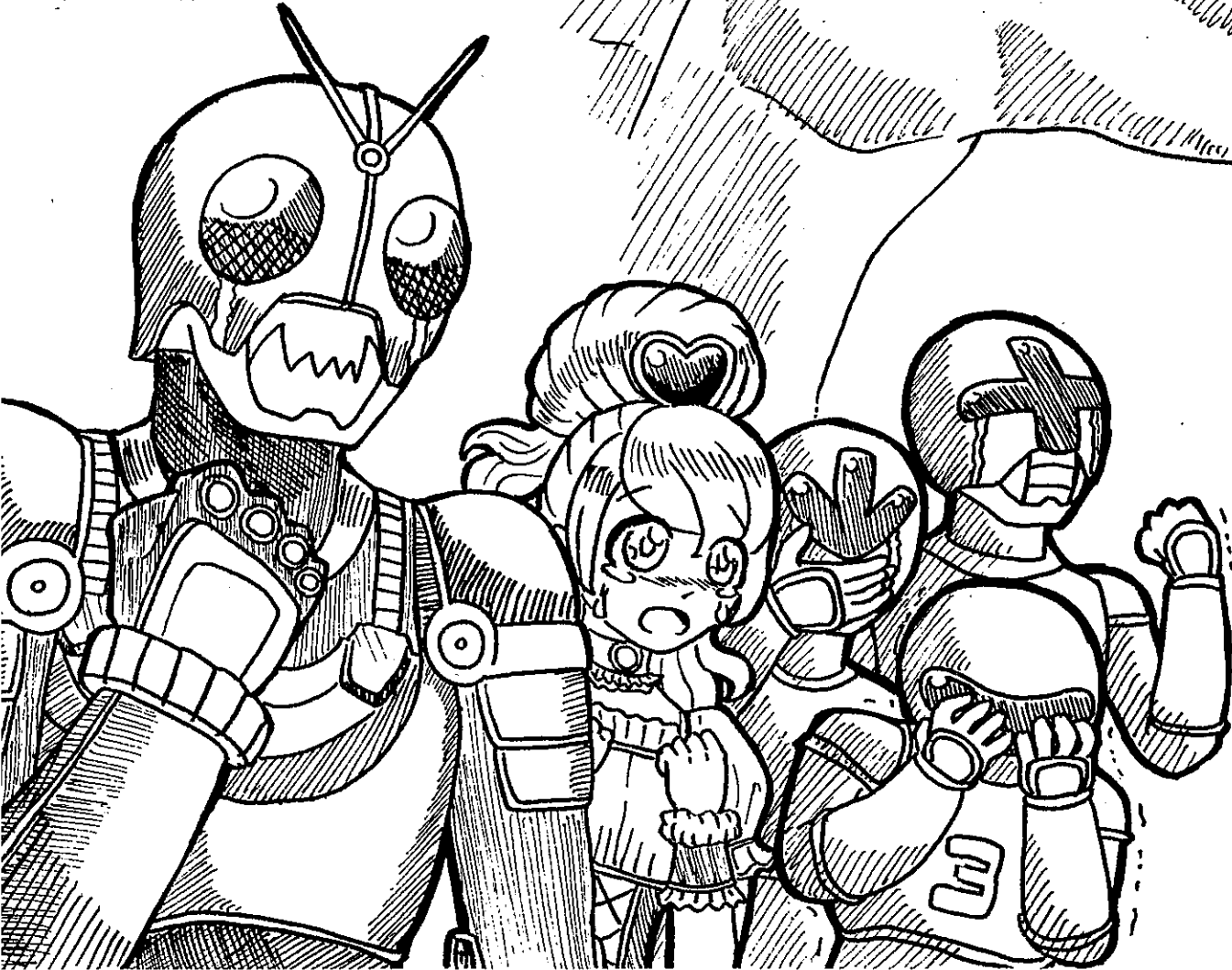
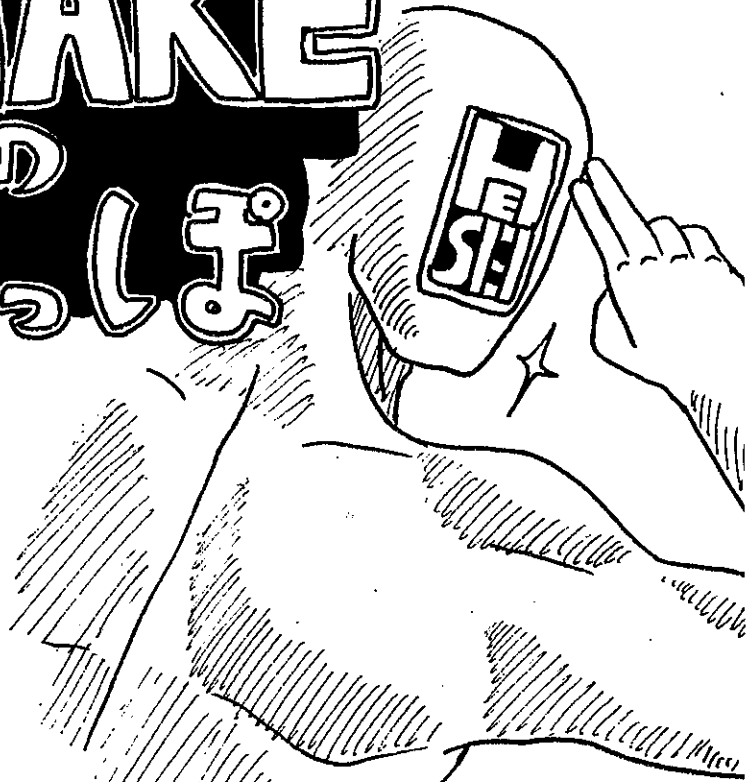
No.97

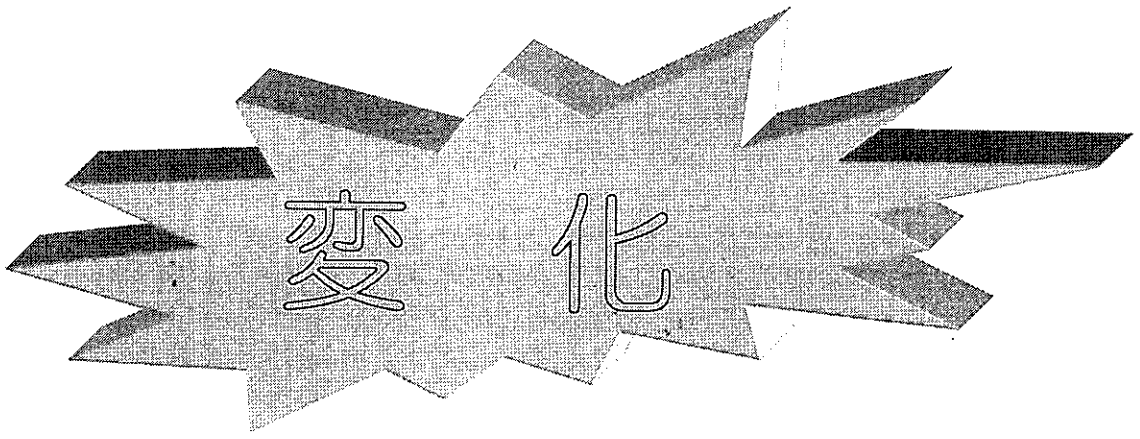
OMAKE

の

いっしょ

- p2 特集「変化」
- p9 さんまくのほんばこ
- p10 お知らせ
- p11 編集後記





「変化とはなんぞや」

平成最後の冬、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の冬は暖冬という事ですが、寒いものは寒いです。

まあそんな愚痴は置いておいて……。

変化といわれても、この年(アラサー)になると中々何かを変える事は難しいと感じています。

世の中では「気持ち次第だ！」と言われる事も多いですが、
普段の怠け癖が板についてしまい何かをはじめると億劫で仕方ありません。

元々変化を嫌う性格なので、それも足を引っ張る要因なのですが。

なので、変化を恐れない人たちが羨ましく思う時がよくあります。

例えば仕事。爆発しそうなほどの不満を持ちながらも転職活動に踏み出せないのは、今の環境が変わってしまう事が怖いから。

やらなきゃ分からないよ！動かなきゃ！と言われても、なかなかどうして、動き出す事が難しい。

あとは何だろう。スマホの機種変更とか？昔はちょくちょく変えていたのに、最近はめっきりです。

理由は同じ。

「今までと変わってしまう」事が怖いから。

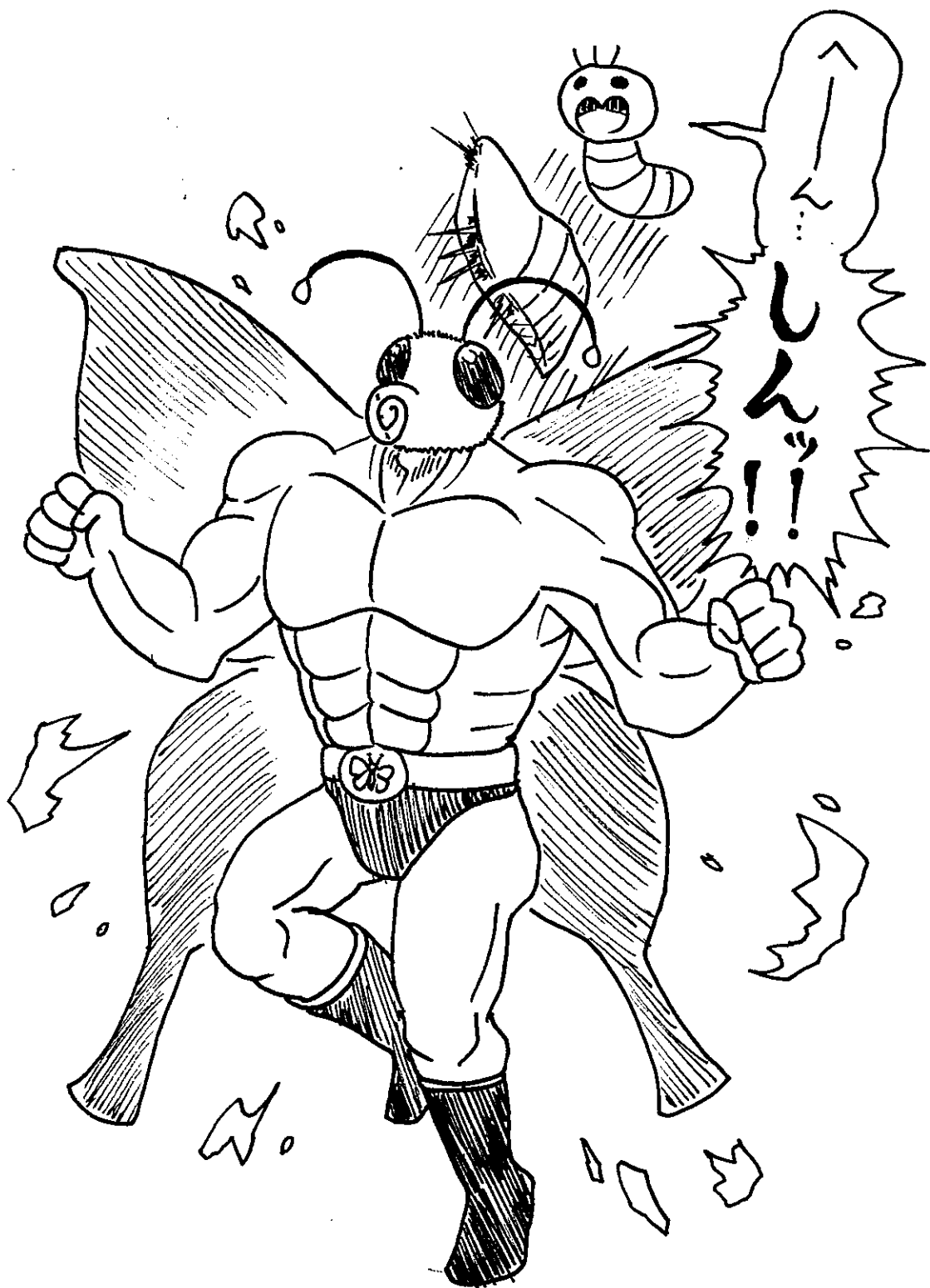
年をとるほど「変化を嫌う」ようになりました。

良いほうにいくか分からないのに、変える事が怖い。

もしうまく行かなかったら？なんて考えます。

駄目な大人の見本みたいな人間になりました。

若者達、変化する事は怖いことじゃないぞ。



「赤の女王」

不思議の国のアリスで赤の女王はアリスにこう言う「ここでは同じ場所にとどまる為には全力で走り続けなければならないのだ」

赤の女王は自然科学の世界で使われる言葉でもある、「進化」と言うものを現す言葉だ。

進化はダーウィンの「種の起源」で発表された生物が周りの環境や相互関係により世代交代の中で変化する事だがそのしくみは未だ完璧には説明出来てはいない。

進化は「自然選択」による変化だと言う。恐竜の一部は高い木の上から本来は保温の為に体に生やした羽毛を使って滑空するうちに鳥となった。

また現在も「生きている化石」として有名な現生シーラカンス「ラティメリア属」は他の肉鱗類が地上を目指す中、一部のシーラカンスが水中に残った事により現在まで生き延びている。

変化とは無理に変わる事ではないのだ、それは人間の社会にも言えるだろう。

周りの環境によって自身を収斂していくのも人間の進化の一つだと思っている。



「今年は変化が大きい」

何が変わるかと言われたらまず身の周りの環境が大きく変化する。

活動環境、活動内容、社会的立ち位置…変化する一つ一つが大きすぎる！と言うか重い！
この変化っぷりに混乱すると言われても不可能である。

そういえばそろそろ年号が変わるが果たして今度はどんな年号になるだろうか。

友人とこの話題で盛り上がっていたが、「平成の次はグランドカイザーになるかもしれない」と友人に爆弾発言されて思考が一瞬止まった。どこにそんなキラキラネーム年号を許す国民がいるか。

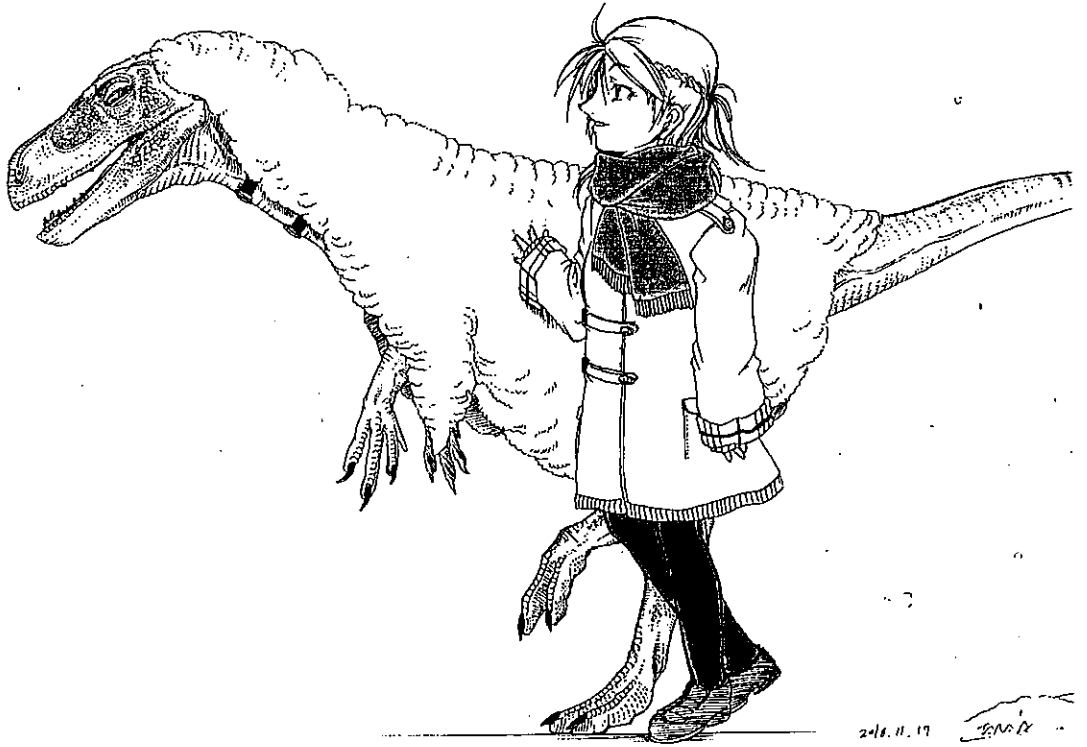
だが世の中には勇喜（てつわんあとむ）や男（あだむ）、黄熊（ぷう）という人名が存在するという風の噂を耳にしたことがある。

もしかしたら平成の次は大帝（グランドカイザー）になるのかもしれない。

というわけでさよなら平成、こんにちは大帝（グランドカイザー）。

それでは皆さん、大帝（グランドカイザー）元年7月までごきげんよう。





「長寿番組をみてみると」

自分が生まれる前の番組とか、映画とか、みたことありますでしょうか？

あるいは、そこそこ古いよな～と思って見た映像作品が、案外最近のものだったりした経験。

レンタルしてきたDVDをみて、

「うわっ、古くさ！これ何年の映画よ。」

「え…私より、若いじゃん…」

となるあの感覚は、わりと趣が深いと思います。

わたしもそこそこの年数、生きてきてるのだから、と実感する、味わい深い機会になりますよね。

この、「うわ！古くさ！」っておもうギミックは、人それぞれだと思いますが、個人的には、全身のみだしなみと化粧の仕方の変化をみるのが好きです。

昔の映画やドラマをみても、当然現代との差異を感じることはできますが、ことに連続的な変化についていえば、長年つづいているシリーズものの作品をみると、圧巻です。

例をだすと、某日曜朝の子供向けスーツアクター系作品。便利な世の中なもので、公式さんがネットで過去の作品をアップロードしてくれていて、最近はもっぱら、そのアーカイブをさかのぼってみていくのが趣味になっています。

作中の人物のファッションや化粧の仕方が、その年の流行をしめしていて本当におもしろい（このシリーズはだいたい年に1作品なので、ちょうど一年単位の流行の変化が追えるわけです）。

アイメイクが濃い年、ビビットカラーが印象的な年。髪型、髪色、スカートの丈から携帯のバージョンまで、細かなところがゆっくと、ちょっとずつ変化していくのがはっきりわかります。

よくよく聞いてみると、しゃべり方とかまで違ってきてる気もする。

特にSF的要素についていえば、作中にはその時代で考えられる限界の「最先端」が組み込まれるわけで、それが今では最先端どころか過去の遺物になっていることもある。

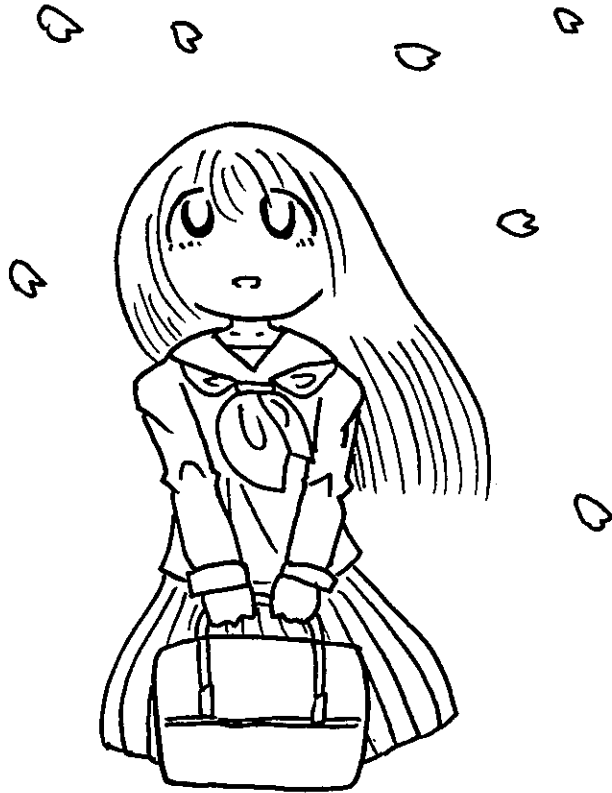
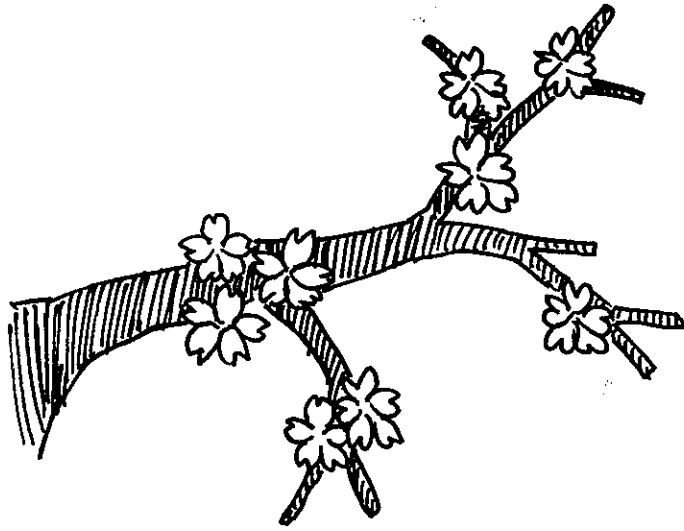
昔の作品で「こんなのあったらいいな」的立ち位置だった機器が現代では日用品だったりすることもあります。

そして、われわれ現代人はこれらを見て、懐かし～と笑ってみたりするわけですが、われわれも歴史の中の一層。

日々刻刻あたらしいものやシステムが生まれているわけです。

世の移り変わりはめまぐるしいもの、3年後くらいには、2019年の文化、古い～とかいわれはじめるんでしょう笑

願わくば、映像映えのする流行を生んでほしいですね、新元号元年。





さんまくんのほんばこ

『四畳半王国見聞録』

森見登美彦／新潮社／2011年

「見渡す限り阿呆ばかり」

この物語は京都の寂れた下宿を舞台の中心に繰り広げられる、住人である大学生たちによる青春に四畳半と阿呆神の加護が渦巻くオムニバスストーリーである。

ある者は四畳半王国なる国の建国で繰り広げてきた一人での戦いを独白し、

ある者は水玉ブリーフ丁で京都の苦学生たちを人間観察し、

あちらでは正義の味方を目指すも挫折し凡人に憧れる、非凡な才能を持て余した非凡人男五人衆が日々互いの心の傷を舐め合い、そちらでは影で暗躍する四畳半統括委員会に恐怖する者が続出している。

本書ではそんな混沌とした学生ドラマが七本収録されている。さらに同作者作品である「夜は短し歩けよ乙女」、「四畳半神話体系」は本書と同じ舞台であり、同一人物のキャラクターも登場する。これらの要素を探しながら読み進めていくのも楽しみ方の一つである。

余談だが上記の二作はアニメーション作品にもなっているので是非こちらも合わせて楽しんでいただきたい。

『キングレオの冒険』

円居挽／文藝春秋／2015年

連続するどんでん返し、細かな伏線、スピード感のある推理。本格的なミステリの流れをくみつつ、軽快なタッチでファンを集める作家、円居先生の最新シリーズのご紹介です。

舞台は現代日本。探偵が、「日本探偵公社」という会社につとめる形で活躍するお話です。キングレオこと天親獅子丸は探偵公社のエース。探偵は、その活躍を助手の作家によって作品に書き下ろされ、さらにメディアミックスもされるようなヒーロー的存在。獅子丸には多くのファンがついているよう。本書には、彼が解決する5つの事件が短編の形で収録されています。シャーロックシリーズのオマージュにもなっていますので、シャーロキアンはぜひ気軽に手に取ってみてください。

魅力は、人間関係の豊かな描写。キングレオの助手をつとめる作家天親大河に、二人の天敵、美青年坂城論語。大河の、獅子丸への「デカ」すぎる執着や、論語くんのセンスたっぷりの口上は、多くのファンたちをわかせています。

春休みのミステリ開拓に必須の一冊。

今号の執筆メンバー：あまみ、谷月、あお、mu_min、の皆様

Special Thanks：kuya、みゆん様

「OMAKE no いっぽ」編集委員・投稿募集中!!!

あなたも YA 広報誌「OMAKE no いっぽ」の編集会議に
参加してみませんか？

編集に興味のある人、イラスト、まんがを描くのが好きな人、
みんなと何かしてみたい人など、大歓迎です。

会議に出られなくても大丈夫。原稿は郵送でも受け付けています。興味のある人は
問い合わせしてみてください。

イラスト、ポエム、エッセイ、本や CD の紹介など、何でも OK。企画の持ち込み
も受け付けます。投稿の際は、お名前（ペンネーム）も忘れずに。

なお、紙面の構成によってサイズを縮小して掲載することがあります。

本誌への、ご意見やご感想もお待ちしています。

全ての申込み・投稿・問合せは、下記八雲中央図書館 YA サービス担当まで
どうぞ。

平成31年度に発行する号の編集会議等の予定（毎月第3土曜日を予定しています）

日時

会議内容／発行号	98号	99号	100号
第1回 特集等の内容と担当決め	4月20日	8月17日	12月21日
第2回 文字原稿締切・校正	5月18日	9月21日	1月18日
第3回 すべての原稿の締切	6月15日	10月19日	2月15日
第4回 折り作業、発行・配付	7月20日	11月16日	3月21日

場所 八雲中央図書館内の会議室で行います。

（めぐろ区民キャンパス、地下1階の図書館に入り、YAコーナーの奥の部屋です。）

事前予約不要です。直接会場に来て、編集会議にご参加ください。

お待ちしております。

お問合せ・お申込み・ご意見・ご感想は、

八雲中央図書館YA（ヤングアダルト）サービス担当まで。

目黒区立図書館YA広報誌「OMAKE no いっぽ」第97号

2019年3月 発行

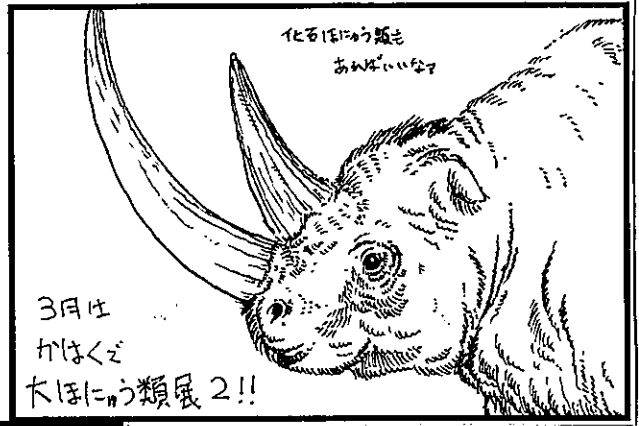
編集：「OMAKE no いっぽ」編集委員会

発行：目黒区立図書館

目黒区立八雲中央図書館YA（ヤングアダルト）サービス担当

〒152-0023 目黒区八雲1-1-1 Tel.(5701)2795

編




私、朋分次号から
一旦消えるかも!!

Mu_min

集

後

3000年ぶりにペンタブを
手に入れました。
青ことブルードールです。

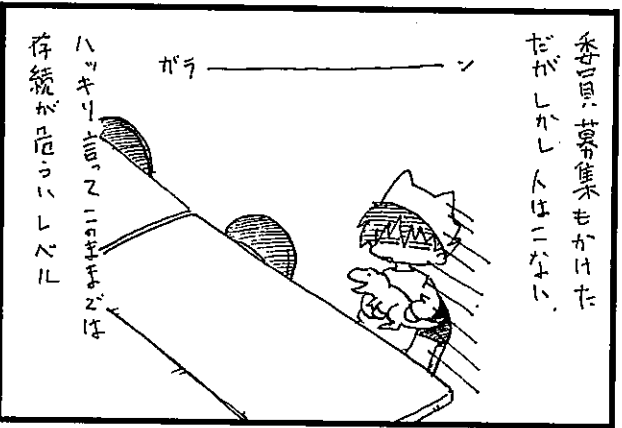
最近もっばら
TRPGしかしていない。

今年は国家試験やら
就活やらで忙しそう
で暴れています。
(年齢が露見)

みんなも頑張ろうね。あ

記

ARUHIの Omake



※マツなご皆来マ。

